

特定放射性廃棄物の最終処分取組見直しに向けた国民からの御意見
(平成25年11月20日～平成25年12月18日)

※個人情報等を除き原文を掲載しております。

○年齢：40代

○性別：女性

○職業：無職

○都道府県：愛知県

○御意見及びその理由（1）

本日11月20日の放射性廃棄物WGにおいて、最後に時間もない中で、増田委員長が議題の（3）その他として、11月28日に予定されている基本政策分科会で、当WGの現時点での審議状況を報告しておきたいとして、手元のメモか何かをご覧になりながら、おおまかな要旨をご説明になり、それに対して委員から若干の意見も出されましたが、増田委員長は明らかにご自分のメモか何かをご覧になって説明していらっしやいましたので、なぜメモ書き程度でも文面を配布して意見を求めないのか疑問に思い、また、別途、報告案についてきちんと時間をとって審議するべきことなのではないかと思いました。

寿楽委員から、本来はドラフトをここで示すべき、透明性・公平性を担保し、プロセスが社会から見えるようにすべきとのご指摘もあり、心強く思いましたが、住民、国民の信頼を得るためにも、ぜひ慎重なプロセスを踏まえていただきたいと切にお願い申し上げます。

ところが、本WG終了後すぐに、朝日新聞WEBに下記の記事が掲載され、大変驚きました。「年内にまとめる新たなエネルギー基本計画に盛り、早ければ来年にも科学的にみた適地を示す方向だ」とありますが、新たなエネルギー計画に盛るとか来年にも適地を示すというお話は今日のWGでは出ていなかったと思います。

新たなエネルギー計画に盛り込むような重要な報告であればなおさら、公開の場できちんと時間をとって検討していただかなければ困りますし、公聴会などを実施して国民からの意見も聞いた上でまとめていただきたいと思います。

また、朝日新聞が勝手な解釈で記事を書いているということでしたら、本日、同紙が全国で100カ所以上の適地を国が示すと報じたことも含めて、国民に対し明確にご説明いただきたいと思います。

増田委員長は、基本政策分科会で報告する内容として、「どのような処分方法

が現時点で最も望ましいかについては、将来世代に不当な負担を残さないように、現世代で長期に渡る制度的管理（人的管理）によらない最終処分の方を目指す必要がある。最終処分の方法は国際的な共通認識をあらためて確認することを通じて、地層処分が現時点で科学的に最も有望であるとおおよその意見の一致をみている、とこういう言い方で申し上げようかと思う」とおっしゃいましたが、「国際的な共通認識」が日本のような条件で通用するのかが問題なのであり、まだ技術 WG で地層処分の技術的妥当性について審議している最中で、「地層処分が現時点で科学的に最も有望であるとおおよその意見の一致をみている」と報告できるのか疑問ですし、将来世代に不当な負担を残さないためにも、地層処分ありきには慎重であるべきではないのでしょうか。

いずれにしましても、本 WG の運営や意見のとりまとめ方からして民主的で国民が納得できるものでなければ、一向に問題解決には近づけないと思いますので、慎重に運んでくださいますようお願いいたします。

最終処分場、14年にも候補地提示 放射性廃棄物

2013年11月20日13時55分 朝日新聞

http://www.asahi.com/articles/TKY201311200185.html?ref=com_top6_1st

原発の使用済み燃料を再処理して出る「高レベル放射性廃棄物」の最終処分場選びについて、経済産業省の作業部会は20日、国が主導する方針を表明した。自治体の首長だけでなく、住民の意見を聴く仕組みも整える。年内にまとめる新たなエネルギー基本計画に盛り、早ければ来年にも科学的にみた適地を示す方向だ。

有識者でつくる総合資源エネルギー調査会の放射性廃棄物ワーキンググループ（委員長・増田寛也元総務相）が、立地選定の手法を見直す方向性を示した。

増田氏は「地層処分が科学的に最も有効であるという意見の一致をみている」とした上で、「住民の合意形成の仕組みや地域支援策について、国がより前面に立っていくべきだ」と述べた。

○御意見及びその理由（２）

本日 11 月 20 日の放射性廃棄物 WG で示された事務局提出資料「資料 2 立地選定プロセスの見直しの方向性」に、前回の WG で寿楽委員からありました「適地となれば社会的圧力も高まるので拒否権をきちんと担保することについて慎重な議論が必要」とのご意見をぜひ記載してください。

よろしく願いいたします。

○御意見及びその理由（３）

昨日 11 月 20 日放送のテレビ朝日・報道ステーションは、経産省や自民党の資源・エネルギー戦略調査会が、核のごみについて、数十～数百年単位の地上保管施設の検討に入ったと伝えました。

昨日の放射性廃棄物 WG では、そのようなご報告も何もなかったと思います。

報道の通りであれば、本 WG の議論にのせて国民にわかる形でいねいにご審議くださいますよう切にお願い申し上げます。

2013 年 11 月 20 日（水） 報道ステーション

「核のごみ」地上に保管施設の設置を検討

http://www.tv-asahi.co.jp/dap/bangumi/hst/news/detail.php?news_id=35970

政府・与党は、原発から出る放射性廃棄物、いわゆる「核のごみ」を、地中深くに埋める案を検討していたが、10 万年単位となる地下処分場を受け入れる自治体が見つからないため、経済産業省や自民党の資源・エネルギー戦略調査会が、数十～数百年単位で保管する施設を地上に設置する案の検討に入った。海外では、乾式キャスクなどで放射性廃棄物を地上保管している施設もある。

「核のごみ」をめぐることは、小泉元総理が、最終処分場選定のめどが立たないことを理由に盛んに原発ゼロを唱えている。